

トレーサビリティへの第一歩

欧州や日本の取引先は、製品がどこから来て、どのように作られたのかを尋ねることが増えています。EU 森林破壊防止規則（EUDR）や EU の炭素国境調整メカニズム（CBAM）がその例です。準備の多くは、シンプルで丁寧な日々の管理です。

01 自社の製品と市場を把握する

どの製品がどの取引先・どの国に向かうのか、どの規則が適用されるのかを一覧にしましょう。

02 原材料の出どころを記録する

サプライヤー、農園や区画の所在地、日付、数量を記録しましょう。

03 書類をひとまとめにする

契約書、請求書、証明書、土地関連書類を一か所に保管し、すぐに取り出せるようにしましょう。

04 エネルギー使用量を測る

拠点ごとの月々の電力・燃料使用量を記録しましょう。節約の余地を見つける手早い方法にもなります。

05 サプライヤーを支援する

何が必要かを説明し、シンプルな記録をつけられるよう支援しましょう。

06 取引先に早めに尋ねる

どのような情報を、どのような形式で必要とするのかを、顧客に具体的に確認しましょう。

07 一つの製品から始める

対象を広げる前に、一つの製品ラインで進め方を試しましょう。

08 規則を定期的に確認する

欧州の規則は今も調整が続いています。施行日や詳細は公式の情報源で確認しましょう。

製品や市場ごとに固有の要件があり、本ガイドは一般的な方向性を示すものにすぎません。最新の規則は、公式の情報源や資格を持つ専門家にご確認ください。取り組みを始めるにあたってお手伝いが必要な際は、どうぞお気軽にご連絡ください。